

二次審査集計表

かしはらパークライフ創発パートナーズ

	審査項目	点数	満点	得点率	
共通事項	基本的な考え方				
	①施設の管理運営に対する理念や基本方針が市の定める施策に則っている。	28	40	70.0	
	②公の施設であることを理解し、利用者が平等に利用できるような提案がなされている。	26	40	65.0	
	事業の実施体制				
	①事業の実施体制が、適切な役割分担により構成されており、長期間の事業を安定的に運営できる体制となっている。 地元企業・団体を積極的に活用している。	28	40	70.0	
	モニタリング自己評価等の実施方法				
	①モニタリングの自己評価等の実施方法がより多くの意見を取り入れ、事業内容の向上に資する手法となっている。	26	40	65.0	
	その他				
	①自主事業及びP-PFI事業と連携した公園全体の魅力向上事業の内容が公園の設置目的に合致している。内容が斬新であり、公園の新たな魅力づくりにつながる提案がなされている。 公園の集客性の向上が見込まれる。 アクセス性の改善に資する提案がなされている。	28	40	70.0	
	②市内雇用の積極的な活用に配慮している。 障がい者雇用、子育て支援に対する取組がなされている。	26	40	65.0	
共通事項 小計		162	240	67.5	
指定管理業務	事業計画・サービスの具体手法				
	①事業計画は、施設の設置目的に沿った成果が得られ、公園全体の質の向上を図る提案がなされている。	28	40	70.0	
	②施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支計画が合理的かつ妥当である。	28	40	70.0	
	③管理運営経費の削減効果の大きい提案であり、指定管理料の削減額が大きい。 利用料収入が見込み金額を超えた場合の利益還元割合についての提案が十分なものとなっている。	22	40	55.0	
	④施設の利用促進や利用者の増加を図るための斬新で魅力的な提案がなされている。(自主事業を除く)	30	40	75.0	
	⑤利用者からの意見を把握し、それらを反映させる取組を構築している。	28	40	70.0	
	⑥利用料金の考え方は適切になされている。	28	40	70.0	
	⑦施設の情報発信や広報活動の取組が適切である。	30	40	75.0	
	⑧他の行政施設や、地元自治会等との連携を図るイベントの提案がなされている。公園全体に賑わいを持たせる定期的なイベントの提案がなされている。	28	40	70.0	
	⑨公園内各施設(P-PFI事業で整備される施設を含む)や、歴史に憩う榎原市博物館、ふれあいの里との相互連携による相乗効果を期待できる企画を提案している。	26	40	65.0	
	財政基盤・人材基盤・維持管理能力				
	①長期的安定的な管理運営を行っていくための財政基盤・人材基盤を有している。	32	40	80.0	
	②施設の特性に応じた管理体制、人員配置、職員の資格・経験が適切である。	28	40	70.0	
	③職員の資質、能力向上を図る取組が適切である。	28	40	70.0	
	④施設の設置年数を考慮した修繕や保守点検等の考え方が適切である。 長期的な視点に立った、利用者の安全性の向上と、施設の快適な利用に資する計画的な機器等の入替、更新についての提案がなされている。民間のノウハウを活用した、運営経費削減効果を発揮する新たな機器の導入について提案されている。	32	40	80.0	
	関係法令等の遵守及び危機管理能力				
	①関係法令等の遵守を徹底するための取組が適切である。	28	40	70.0	
	②安心・安全に施設利用できるよう体制が確立できしており、事故・災害などの未然防止及び発生時の危機管理対応に関する取組が適切である。	26	40	65.0	
	指定管理業務 小計		422	600	70.3

P-PFI	全体計画				
	①事業の実施方針が、公園の設置目的、公園の特色と合致しており、公園の更なる魅力向上に資する提案となっている。	26	40	65.0	
	②事業の収支計画が合理的かつ妥当である。	24	40	60.0	
	③施設の配置計画が適切であり、既存施設の機能を損なわず、周辺施設とも相乗効果の得られる提案となっている。	24	40	60.0	
	④事業スケジュールが、事業着手から設計、施工の期間を適切に定めており、関係機関協議の日数を考慮している。事業期間中の長期的な維持管理（リニューアル）計画を適切に定めている。	30	40	75.0	
	⑤リスク管理が具体的に検討されており、社会情勢の変化、不測の事態発生時のリスク管理が計画されている。事業継続のためのセルフモニタリングの体制が適切に示されている。	28	40	70.0	
	⑥ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮された提案となっている。安全面に配慮された提案となっている。	26	40	65.0	
	公募対象公園施設に関する計画				
	①公募対象公園施設の提案が事業コンセプトと整合しており、斬新で公園の魅力向上につながり、集客性の向上を図ることができる提案となっている。	24	40	60.0	
	②施設の外観が周辺景観と調和が図られ、屋外との連続性が考慮されている。長期的な視点による発展性を秘めた計画となっている。	26	40	65.0	
	③業種・業態が公園内で行う事業に適しており、公共空間での営業であることを配慮した内容となっている。	26	40	65.0	
	④サービス内容が、事業コンセプトと整合しており、公園の特色を活かしたものとなっている。営業日、営業時間等が利用者の利便性に配慮された計画となっている。	26	40	65.0	
	特定公園施設に関する計画				
	①特定公園施設の提案が事業コンセプトと整合しており、利用者がくつろげる空間形成や公園の賑わいづくり、利便性の向上に寄与する提案となっている。周辺景観との調和に配慮された提案となっている。	28	40	70.0	
	②施設の規模が十分で、公園への還元効果が大きい提案となっている。維持管理コスト削減についてのアイデアが含まれた提案となっている。	24	40	60.0	
	利便増進施設に関する計画				
	①利便増進施設の提案が事業コンセプトと整合しており、周辺景観との調和に配慮された提案となっている。施設の規模が十分で、公園への還元効果が大きい提案となっている。	26	40	65.0	
	公園及び施設の管理運営計画				
	①公募対象公園施設の管理運営についての提案が、公園全体の賑わいづくり、魅力向上に寄与する提案となっている。集客のための広報、PRの手法が適切であり、より多くの人に宣伝効果があり集客性を高める提案となっている。	28	40	70.0	
	②計画以上の収益が発生した場合の公園施設への利益還元割合の提案が十分なものとなっている。	26	40	65.0	
	P-PFI 小計	392	600	65.3	
	合計		976	1440	67.8